

まだらの風



令和7年4月7日
学校便り No.1
校長 原口 真

『育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力』

～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

令和7年度スタート～職員一同、今年度もよろしくお願いします～

前年度に引き続き馬渡小中学校にお世話になります校長の原口真(はらぐち まこと)です。職員一同、子どもたちの元気な声が学校に響く新学期が来るのを心待ちにしていました。保護者・地域の皆様におかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力をいただくことが多々あると思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

始業式の話から～自分らしさ、仲間の良さ、馬渡の力を育てる学校に～

4月7日(月)、小2、小3、小4、小5、小6、中2、中3の児童生徒12名全員が出席して始業式を行なうことが出来ました。始業式では、今年度の学校教育目標について、次のように話をしました。

今年度の馬渡小中学校教育目標は「『育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力』～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～」です。

みなさん一人ひとりはそれぞれにかけがえのない大切な存在です。自分らしさに間違いはありません。昨年度の目標で、「見つけよう自分らしさ」としていたところを「育てよう自分らしさ」とかえた思いは二つです。一つ目は、自分らしさに気づき、伸ばし、育ててほしいという思いです。二つ目は、自分が好きなものは好きだと胸を張って伝えてほしいという思いです。何に興味があり、何が得意で、どんな思いを持っているのか、そしてこれからどう生きていこうとしているか。決めるのは自分、あなたの人生の主人公はあなた自身です。好きなことをやり抜く熱意は、夢や目標の実現につながっています。

「自分らしさ」を知る一番の方法は、他の人と触れ合うことです。他の人がどんなことを考え、何をしているのか、多くの人と接することを通して、「自分らしさ」はできていきます。ですから、自分を創り上げるために、他の人の良さにも気づき、認めることが大切です。馬渡小中学校は、今度入学してくる新入生を含めて、小学校8人、中学校6人の14人の児童生徒で、相手のことがよく見えます。お互いに認め合うことを通して、共にこの島で生活していく仲間として相手を尊重する(その人らしさを大切にする)心を育ててください。

最後の「つなげよう馬渡の力」にこめた思いは二つです。まず、子どもたち一人ひとりがしっかりとつながってほしいという思いです。今年はじめてこの学校で過ごす人が何人もいて、1学年に一人だけのところも7学年があります。縦割り班の活動や、運動会などの行事を通してみんなが力を合わせる楽しさをたくさん味わってください。次に、馬渡の良さを他の人に伝え広げていってほしいという思いです。学校で学んだこと、地域のことについて調べたことなどを自分だけにとどめず、他の学年の人、先生たち、島民の方、島の外の人たちにも伝え、つながりを広げていってください。

馬渡小中学校に通うみなさんは、一人ひとりが家族の宝物であり、地域の宝物であり、学校の宝物です。みなさんの笑顔が馬渡小中学校全体の、そして馬渡島という地域全体が元気になることにつながります。みんなの力を合わせて、笑顔あふれる馬渡小中学校を創り上げていきましょう。

転入のご挨拶～新メンバーが加わり新体制に。子どもたちのために頑張ります！～

このたびの人事異動で右記の者が本校へ着任しました。いろいろな場面でお世話になることと思います。転入者一同、馬渡小中学校の子どもたちの健やかなよろしくお願いします 成長のために頑張ります。よろしくお願いいたします。



校種	氏名	前所属
小学校	中山 洋徳 教頭	
小学校	西山 拓海 先生	
中学校	松永 真二 教頭	
中学校	山浦 修 先生	
中学校	三浦 未来 先生	
中学校	宮原 夢歩 先生	